

A large, stylized logo consisting of the letters 'K', 'F', and 'O' in a bold, rounded font. The letters are white with a thick black outline. The background is a vibrant, multi-colored gradient that transitions through a spectrum of colors including purple, blue, green, yellow, and red, resembling a rainbow or a sunset. The overall effect is bright and eye-catching.

KFO

KF

KF SUPER UREA COAT

KF Chemical has newly developed UREA paint that maintains its beauty by an order of magnitude, working toward ultra-high weather resistance, which is expected weather resistance for 30 years. This is the birth of a new generation house paint with ultra-high weather resistance, waterproofness and high transparency.

無機をも超える新ハイグレード《ウレア塗料》

KFスーパーウレアコート

住宅の外壁の美しさを、どうしてももっと長持ちさせられるのか…。

無機塗料のパイオニアを自負するKFケミカルは、
さらに“超”高耐候性(期待耐用年数30年)を目指し、
桁違いの美しさを保ち続けるUREA(ウレア)塗料を開発。

従来、ポリウレア樹脂は様々な機能を有する素材である反面、
反応速度の速さから応用展開が限られていましたが、
独自の技術によって外壁塗料への応用を可能にしました。

ウレア塗料を構成するポリウレア樹脂は、
防水性、耐薬品性、耐摩耗性、耐熱性が非常に高い樹脂化合物です。
橋梁やトンネルのコンクリート剥落防止材としても使われています。

また、防弾チョッキにも使われることがあるといいます。

超高耐候性・防水性・高い透明性に加え、独自の塗り漏れ防止機能も装備。

まるで強靱な被膜で建物全体をラッピングするように、
ウレア塗料の保護膜が紫外線から外壁を守り続けます。

新世代の住宅塗料の誕生です。

“超”高耐候性

安心な
塗り漏れ
防止機能

強靱な防水塗膜

使いやすい
1液タイプ
(施工不良抑制)

高い透明性

新世代ウレア塗料、KFスーパーウレアコート



期待耐用年数30年、驚異の美しさが持続

KFスーパーウレアコートは、ポリウレア樹脂を用いて圧倒的に強靱な塗膜耐久性を有するため、紫外線劣化を最大限に緩和し、建物の美観を長期的に保ちます。調査研究の結果、SUV1600時間（30年相当）経過でも良好な状態のままです。期待耐用年数は30年、今までにない驚異の美しさの持続力を実感できます。

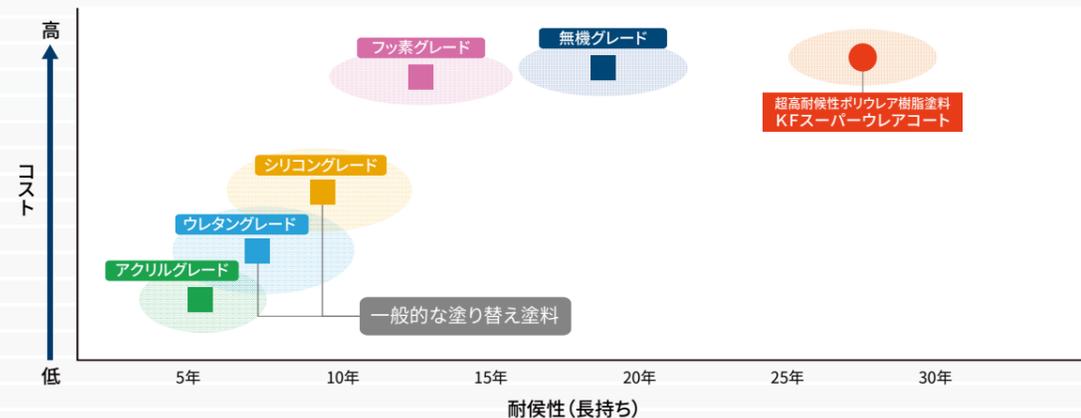
■実暴30年相当 SUV1600hr暴露後試験体比較写真



<試験方法> 基材:ニチハ製窯業系サイディングボード 基材
SUV600hr暴露→各種塗料塗布・養生→SUV1600hr暴露
<試験機> 岩崎電気(株)製 アイスバーUVテスター 波長295~450nm
紫外線照射度150mW/cm² BP温度63°C サイクル50%RH 4hr照射→4hr結露

現在の塗料の中では最高クラスの耐候性を実現

■塗料グレード別の耐候性(イメージ)



シーリング材上やサイディングなどのひび割れ・剥離を強靱なホールド力で防止

一般的に高耐候性樹脂を用いた塗料は硬くて脆い性質があり、シーリング材上などでは経年でクラックが発生し、美観・シーリング材劣化の要因となることがあります。また、ボードの腐食や凍害のある地域では、塗膜は光沢があり生きていてもサイディングボード上で微細なクラックの発生や爆裂を引き起こし、ボード交換が必要になることがあります。そこで優れた耐候性を有し、強靱な塗膜物性のある塗料の開発が必要でした。KFスーパーウレアコートは、ポリウレア樹脂の特性を活かして強靱でありながら柔軟な塗膜として、ひび割れ・剥離を強靱なホールド力で防止します。

■一般的な高耐候性塗料の場合

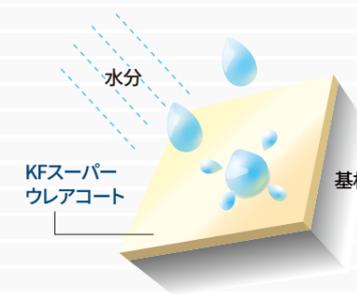


■KFスーパーウレアコートを塗布

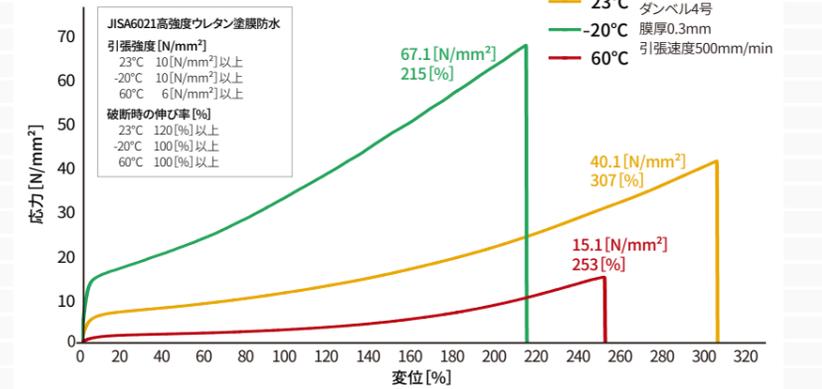


透明ウェットスーツで建物を覆うイメージの強靱な防水塗膜

強靱な塗膜で建物全体を透明なウェットスーツで覆うような塗料がKFスーパーウレアコートです。防水性・柔軟性に優れ、未永く住まいを守り続けます。伸張性・引張強度が高いため、住まいの防水性を格段に高めます。また、シーリング材上の塗装も可能です。



■KFスーパーウレアコートの機械物性



まるで塗布していないかのような高い透明性

非常に透明性が高いのが特長のKFスーパーウレアコート。実際に塗布したガラスと未塗布のガラスを比べても、差を感じないほどです。一般的な高耐候性塗料より塗膜の劣化も少なく、耐屈曲性・耐クラック性に優れています。大切な住まいの外観の印象を変えずに、30年にわたって美観を守り続けます。



▲未塗布のガラス面とほぼ変わらない鮮明さを実現



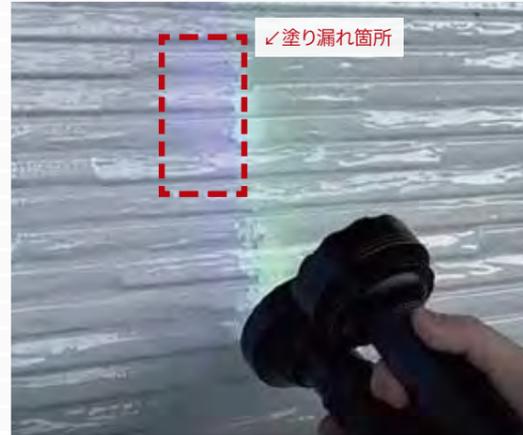
塗り漏れ防止

塗り漏れ箇所がすぐ分かる

一般的なクリアー塗料は、塗り残しがあってもすぐには分かりません。そこでKFケミカルでは塗り漏れチェックに画期的な技術を導入しています。KFスーパーウレアカートに蛍光顔料を添加、ブラックライトを当てると塗り漏れの箇所は紫色になり、すぐ分かるようにしています。(特許専用実施権取得済)
これにより塗り残しを防止でき、住まいを漏れなく強靱な塗膜で覆い尽くすことができます。一般的な壁面防水塗料は6回塗りが多いのですが、KFスーパーウレアカートはわずか3回塗りで完工。施工間隔が大幅に短縮し、塗膜の仕上がりに確かな品質を確保することができます。



ブラックライトで塗布状態を瞬時にチェック
推奨: ブラックライト 100LED型



塗り漏れ箇所は紫色ですぐわかる



使いやすい1液タイプ (施工不良抑制)

独自技術で使いやすい1液タイプを実現(施工不良抑制)

KFスーパーウレアカートは、特殊変性したポリウレア樹脂からなる1液湿気硬化形の弱溶剤ウレア塗料です。一般的な高耐候性塗料は主剤と硬化剤から成る2液タイプが主流です。このため施工時の計量ミスや混合不足によって設計通りの塗膜物性が得られないことが多々ありました。
KFケミカルは独自の樹脂合成技術によって硬化剤成分を内在させることに成功。これにより1液タイプとなり、現場での施工不良を起こしにくく、簡単に期待した性能の塗膜を作ることが可能となりました。

■外装クリアー標準塗装仕様(窯業系サイディングボードなどの塗り替え)

工程	製品名	色	塗回数	塗布量	希釈率	施工器具	工程間隔(23℃)
1	KFスーパーウレアカート下塗	クリアー	1	0.15~0.18kg/㎡	無希釈	中毛ローラー、刷毛	16時間以上5日以内
2	KFスーパーウレアカート	クリアー	1	0.15~0.18kg/㎡	無希釈	中毛ローラー、刷毛	—

※下地調整: 旧塗膜の剥れ・膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去し、補修を行う。チョーキング・汚れ等は高圧洗浄機を用いて吐出圧13MPa以上で施工面を洗浄し十分乾燥させる(含水率10%以下)。板間目地のシーリング材は撤去打替えとする。(推奨シーリング材はオートンイクシード)

■外装エナメル標準塗装仕様(窯業系・金属系サイディングボード、モルタル下地にリシン、吹付タイル・RCなどの塗り替え)

工程	製品名	色	塗回数	塗布量	希釈率	施工器具	工程間隔(23℃)
1	KFスーパーウレアカート下塗	指定色	1	0.15~0.18kg/㎡	無希釈	中毛ローラー、刷毛	4時間以上5日以内
2	KFスーパーウレアカート下塗	指定色	1	0.15~0.18kg/㎡	無希釈	中毛ローラー、刷毛	16時間以上5日以内
3	KFスーパーウレアカート	クリアー	1	0.15~0.18kg/㎡	無希釈	中毛ローラー、刷毛	—

※下地調整: 旧塗膜の剥れ・膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去し、補修を行う。チョーキング・汚れ等は高圧洗浄機を用いて吐出圧13MPa以上で施工面を洗浄し十分乾燥させる(含水率10%以下)。なお、下地のヘアークラックなどは耐溶剤性を有する可とう形改修塗材E等を用いて下地調整を行う。窯業系サイディングボード下地の場合、板間目地のシーリング材は撤去打替えとする。(推奨シーリング材はオートンイクシード)

◎ローラーは、13~18mmマイクロファイバー推奨。
※取り扱い注意事項等、詳細な内容が必要な場合には、製品説明書や安全データシート(SDS)をご参照ください。

KFスーパーウレアカート施工事例

■下地: RCの施工事例

施工前



施工後



■下地: 窯業サイディングの施工事例

施工後の外壁(拡大写真)



KF KFケミカル株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋1丁目1番1号 日比谷ビルディング9F TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023

HP:<http://www.k-fine.co.jp>

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。



229-15900-001 2023.3